

**令和7年度スタート**

いよいよ新年度が始まりました。3年生は、進路実現に向けて受験学習を本格化させていくと思いますが、学習する前にきちんと計画を立てて取り組むことが大切です。計画を立てることで学習内容の振り返りと改善点をはっきりさせることができ、日々効率よく進めることができるメリットがあります。今年度は、計画をきちんと立てることを意識してみてください。1・2年生も、計画 → 実施 → 振り返りのサイクルを確立することが大切です。「鹿児島中央高校C-pass」を活用して、このサイクルを定着させていきましょう。

令和6年度入試合格状況総括**(1) 大学入学共通テストの分析**

- ① 志願者数 (2/6 大学入試センター発表「最終集計」より)

全国 495171 人【前年度比 3257 人増加】

※志願者数は7年ぶり増加。特に現役生は6434人増加した。このため2025年3月高等学校等卒業見込者のうち、共通テストに出願した者の割合を示す現役志願率は45.5%で0.3ポイントアップし、過去最高となった。

- ② 6教科1000点満点による予想平均点(データネット実行委員会の推定より)

文系→全国 620 点 理系→全国 633 点

※大学入試センター発表の最終集計と本校自己採点の結果を比較すると国語・地歴公民・理科基礎・外国語(英語)は全国集計結果の平均点を超えています。数学・理科・情報は下回っています。この結果から理数科目に苦手意識を抱いている生徒は、教科担任に相談し、現在の学習スタイルを見直そうとする積極的な学習姿勢が大切です。ぜひ、3月までの学習内容を振り返り、早速、行動してみてください。

(2) 本校の入試合格状況

今春卒業した60期生は、朝課外が開始される6月中旬までの期間、7時35分から各教室で自学に励む生徒が多い学年でした。その結果、着実に学力を向上させ、例年になく難関国公立・私立大学を受験する生徒が多かったです。主な国立大学合格状況は、九州大学5人(昨年度現役合格2人)・熊本大学15人(昨年度9人)・東京農工大1人・横浜国立大学1人・千葉大学2人(昨年度1人)という結果を収め、そして主な私立大学の合格状

況では、早稲田大学3人・慶応大学1人・青山学院大学4人・明治大学3人・同志社大学2人・立命館大学6人という素晴らしい結果を収めてくれました。詳細は後日配布の『進路の手引き』で確認してください。

〈主な国公立4年制大学合格実績(既卒含)〉

大	学	名	R 6	R 5	R 4			
東	北	大		1				
筑	波	大		1	1			
東	京	大		1				
東	京	学	芸	1	1			
京	都	大		1				
広	島	大	4	4	2			
九	州	大	5	2	5			
九	州	工	業	4	4	2		
福	岡	教	育	4	4	4		
熊	本	大	15	10	4			
鹿	児	島	大	112	125	112		
国 立 大 学 合 格 者 数			169	198	154			
大	阪	公	立	大	1	2	2	
下	関	市	立	大	11	3	2	
北	九	州	市	立	大	6	5	5
福	岡	女	子	大	1	1	2	
長	崎	県	立	大	1	5	3	
熊	本	県	立	大	4	4	3	
公 立 大 学 合 格 者 数			41	30	23			

進路に関する情報収集に努めよう!

各大学のHPには入試情報が適宜、更新されています。出願に関する事項やオープンキャンパス開催の案内など確認すべきことが多数掲載されています。学校で配布される資料は情報が限られますので、自分が志望する進学先の情報収集は定期的に行ってみてはどうでしょうか。早めの対策が、進路実現の可能性を高めてくれると思います。

【令和7年度鹿児島大学夏季オープンキャンパス】

7月31日(木)	歯学部
8月1日(金)	医学部医学科、歯学部
8月2日(土)	法文学部・教育学部・理学部・工学部・農学部・水産学部・共同獣医学部
8月3日(日)	法文学部
8月7日(木)	医学部保健学科

※参加については、大学HPからの事前申込が必要です。詳細は後日、掲載される予定です。

感じて深く考える

2年8組担任

高校2年生の一ヶ月が過ぎようとしています。今年一年間の進路実現に向けた様々な取組は、大変重要になってきます。もし3年生になってから頑張れば良いと考えているならば、自分の大きな可能性を失うことにもなります。そのため入試や他の様々な進路に関する情報を積極的に収集し、その一つ一つを深く考えることが大切です。今回は、62期生の皆さんに二つの進路情報を提供したいと思います。

難関国公立・私立大学に現役合格を果たした約8割の生徒が高3になる前に志望校決定している。

ある大手予備校が行った進路に関するアンケート結果を見ると、難関国公立・私立大学（東京大学・京都大学・北海道大学・東北大学・名古屋大学・大阪大学・九州大学・早稲田大学・慶応大学・上智大学・青山学院大学・明治大学など）に現役合格を果たした約8割の高校生が「高2の3月までに志望校を決定している」となっていました。本校でも年2回、進路希望調査を行っています。難関国公立・私立大学を志望する生徒数は徐々に増加しているものの、欲を言えば、2年生時点での志望数が大きく増加してほしいです。その理由は、アンケート結果の分析を「早期に志望校を決めることで学習の方針が明確になり、モチベーション高く学習ができることで好結果を収めている」としているからです。高い進路目標に向かって学習に取り組むことは、皆さんの学習意欲を喚起させ、授業での高い集中力を持続させたり、土日の学習量を大幅な増加させたり、学力が飛躍的に伸びることに繋がっていきます。また、7～8月に各大学で実施されるオープンキャンパスに参加することをぜひ勧めたいです。大学のHPで「学べる内容・カリキュラム」などを調べることはできます。しかし、オープンキャンパスに参加することで「キャンパス・学生の雰囲気」を直に感じ、体験授業では、大学での学びの内容を具体的にイメージすることができると思います。参加することで四年間の大学生活を深く考えることができ、進路選択において不安要素が解消されていくと思います。自分で雰囲気を感じて深く考えて志望した大学に進学することは、大学卒業後の進路でもよい結果がでると信じています。ぜひ、今年一年間で多くのことを「感じて深く考える」取組を期待しています。

朝の始業開始前や隙間時間を活用して1年次の復習を徹底する！

3年次の受験勉強では、1・2年生の内容をしっかりと固めることが大切です。62期生の皆さんは、この2年生の1年間で予習→授業→復習の学習サイクルをしっかりと回すことも大切ですが、1年次の学習内容を確実に定着させる時間を設けることも必要となってきます。2年次に1年次の総復習を行い、3年次には2年次の総復習を徹底させることで学力を大幅に伸ばすことができます。そこで朝課外が開始されるまでの期間、7時35分から教室で1年次の復習を行うことや、バス・JR通学などの移動時間を活用することを勧めます。また、大学入試等でよい結果を出すには、自分に適した勉強法を確立することも大切です。今までの学習方法を振り返り、成果がなかなか上がらないと感じたらその原因と解決方法を深く考えてみてください。安易にネット動画の勉強方法に頼るのではなく、まず自分の弱点を探ることが次の段階への飛躍に繋がります。弱点克服方法がなかなかわからない場合は、教科担任の先生に相談してみてもはどうでしょうか。先生方は、皆さんのことをよく理解した上で適した学習方法を提案してくれるはずです。今年一年間の皆さんの積極的な姿勢に期待しています。